

## “町民の皆様へ” その二

平成三十一年一月吉日

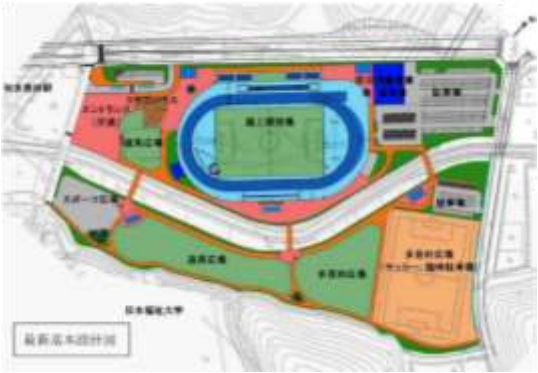
町民の皆様より大変多くの声が本会に寄せられました。

- 一、町民の知らぬ間に運動公園新設事業がどんどん進められていることへの不安。
- 一、町民の都市計画税を町民の使わない公式陸上競技場になぜ使うのか？
- 一、山王川河川の工事を先にやらさずあの場所へ運動公園を作ることには無茶苦茶だ！
- 一、運動公園で町を活性化することの甘い考えが理解できない。
- 一、子どもたちに債務を残したくない。
- 一、太陽光、風力発電等への不安の声と対応のできない町への不満。

## 【一】今、美浜町が進めている大事業をご存知ですか？

- ①奥田駅前運動公園新設事業・・・知多奥田駅前の水田地帯八・三ヘクタールに公式陸上競技場  
(三種)と遊戯場、多目的広場を作るものです。

- ②美浜町総合公園拡張事業・・・総合公園隣接地に五・六ヘクタールの第二グラウンドに代わる、  
野球場、サッカー場、遊戯広場等を作るものです。



※広報みはま平成二十九年十一月号掲載

『身の丈を越した膨大な費用』で、財政破綻した  
“夕張の二の舞”では

奥田駅前運動公園新設費用：四十五億円

美浜町総合公園拡張費用：五億八千四百万円

合計費用：五十億八千四百万円

※現在の合計費用の中には総合公園野球場の整備予算は入っていない、  
今後さらに増加します。

○美浜町の総合公園拡張事業だけで、現在の総合公園が倍以上の広さとなり、十分なスポーツ・憩いの場、また防災拠点となり得ます。

○奥田駅前運動公園を新設することにより、神谷町長が公約した都市計画税の半減どころか、借金の返済のために三十年間、都市計画税を徴収し、この返済に回さなくてはなりません。

○このたび総合公園拡張計画地内に重金属のフッ素が検出された為、この除去には莫大な費用がかかることが判明、総合公園造成工事は着手できず先延ばしされ、土取り工事だけを進め、奥田駅前運動公園の新設のみ急いでいる状況です。なぜでしょうか？

※UR 都市機構ホームページより抜粋 (2 図)



既存の総合公園と拡張計画地



拡張後は野球場、サッカー場、遊戯広場ができる



奥田駅前から大学を見る

## 【二】現状の奥田駅前での決定的な問題点！

○右下の写真は、平成二十七年九月九日に起きた台風十八号での奥田駅前の浸水状況です。この浸水の地域が防災拠点となり得るのでしょうか？ 先ずは下流域の河川改修を実施し、町民の安全を守ることが最優先であることは誰もが認めることです。

## 【三】今、美浜町でやらなくてはならないこと

少子高齢化で、町民税・固定資産税・都市計画税等多くの税収が減っていく今後、より魅力ある美浜町とする為には、次のことを先ず進めるべきではないでしょうか？

一、教育環境の整備：・小中学校の統廃合、保育施設の充実等、若い人が安心して美浜町に住んでいただける環境づくりこそ第一です。

一、美浜町の特性を生かした産業の活性化

：・後継者の育成支援の推進。女性や高齢者の働き場づくりと健康長寿社会を目指すこと。

一、都市と農村との活発な交流対流を進める

：・美浜町の地の利を生かし観光農業・漁業・商工業の活性化を図ること。

一、旧市街地内の道路・公園の整備

：・通学の安全、車の快適な通行、児童公園等の整備に都市計画税を有効に活かすこと。

一、自然環境保全：・美浜町が持つ里山里海等の自然を活かし、太陽光発電・風力発電対策を含め、行政と町民一体となつての取り組みを進めること。

美浜町民の幸を将来に考える会

代表 齋藤 浩一

事務局 0569・87・0130